

令和 7 年度

自己点検評価

富士インターナショナルアカデミー

実施日 令和 7 年 3 月 5 日

本学は教員の一層の充実を図り、本学の目的及び社会的使命を達成する為に、
本学における教育活動について自ら点検及び評価を行うものとする。

1. 日本語教育機関名 富士インターナショナルアカデミー
2. 評価責任者 校長 高多 理吉
3. 公開責任者 設置者 新町 聖子
4. 自己点検実施対象者 設置者、経営担当業務執行役員、校長、

主任、専任、事務員

5. 自己点検評価項目別評価担当者

教務主任（教育活動、学習成果、生徒支援）

事務長（生徒支援、入学者の募集と選考）

校長（学校運営、教育環境、法令順守、地域貢献）

経営担当業務執行役員（財務）

設置者（教育理念・目標）

6. 評価項目について

A：達成されている、適合している

B：一部未達成であるが、不十分なところがあり改善に取り組む

C：未達成、適合しない

Aを選んだ場合は今後も維持、向上する為に何をするか記入

2. 学校の運営

運営の透明性、積極的な情報開示ができているか

告示基準を順守しているか

3. 教育活動

教育理念、教育目標に基づいたコースが設定されているか

教育目標に達成出来る様カリキュラムが編成されているか

教育目標に合致した教材の選定ができているか

教員の適切な配置ができているか

4. 学習成果

入学から卒業までの学習成績の記録、保管が適切におこなわれているか

終了・卒業の判定は適切か

外部試験の結果を把握しているか

学生の進路を把握しているか

5. 学生支援

アルバイト、健康管理、進路指導、入管法上の指導、支援

緊急事態時の対応への支援体制の整備ができているか

6. 教育環境

施設、設備が教育環境に望ましい状態であるか

学習効率をあげるための環境整備が整っているか

7. 入学者の募集と選考

正確な情報提供による募集活動ができているか

理念・教育目標にあった学生の募集ができているか

8. 財務

学校運営、教育活動が安定的に行えているか

予算、収支は有効的妥当であるか

適切な会計監査がおこなわれているか

9. 法令遵守

法令遵守に関する担当者を定めているか

個人情報保護の為の対策をおこなっているか

出入国在留管理局、その他関係官公庁への届け出、報告を

遅延なくおこなっているか

10. 地域貢献・社会貢献

日本語教育機関の資源、施設を利用した社会貢献、地域貢献が

行われているか

地域活動への協力、参加ができているか

公開講座をおこなっているか

教育理念と教育方針

学・誠・思・創

- 学** 目標である大学・専門学校等に進学する為に日本語を学び、日常のコミュニケーションがスムーズに取れるようにする。
- 日本文化を学び、地域交流を活発に行うことを可能とする。
- 日本文化に触れ、地域交流を通して異なった価値観、マナー、生活習慣、言葉、積極性を身につける。
- 社会ルールを学ぶ。
- 入国後日本での生活はすぐにスタートする為、早い段階で指導を行い、社会に適応出来る様に、日々、指導を行う。
- 教職員も共に学ぶ
- 指導を通し、互いの文化を学び合う事で相互理解を深める。
- 誠** 教職員と学生は誠実に向き合う。
- お互いに誠実に向き合い、尊敬、尊重し合う事により信頼関係を築くことがより良い教育に通じることを心に強く刻ませる。
- 思** 人生をよく考え、目標を持つ。
- 慣れない異国での留学生活に苦悩する事があるだろうが、日本へ留学する目標を確かなものにし、家族への思いを忘れずに初心に帰り勉強に励む。
- 教職員は学生の目標を把握する。
- 教職員は学生の目標を適切に把握することによって、学生の能力を見極め、目標へ向かって適切に教育、指導を行う。
- 創** 国際社会に貢献できる創造的な人材の育成。
- 教育、指導を通し、言葉の能力を高め、自律性を高め、広い視野・社会ルール・誠実性・信頼性の養育に努める。
- わが国のみならず、広く世界での出来事にも目を向けさせ、人間社会の現実を見る目を備える事で、国際社会に貢献できる人材を育成する。
- 学生の目標を達成する為に教育内容の改善を怠らず、常に成長し、創造的な学校教育創りをする。
- 学生が安心して勉強出来るより良い環境を整備する事で、成長する創造的な学校をめざす。

教育目標

大学・専門学校等に進学する能力を身に付けさせ、日本語で不自由なくコミュニケーションが取れるようにする。

日本語能力試験で漢字圏 N1、非漢字圏 N2 以上の合格を目指す。

出席を徹底に管理して出席率 100%を目指して指導にあたる。

そのために、日頃から健康管理の徹底に努める。

教育、指導を通じ、言語能力を上げ・自律性を高め、人間としての誠実性・信頼性を養成する。

広い視野を兼ね備える事で、将来、世界で国際貢献できる人材の育成をする。

自己点検評価表

1 理念・教育目標

1	理念・教育目標・教育方針に基づいた学校運営ができている。	A
2	内容が社会のニーズに合致した内容になっている。	A

2 学校の運営

1	教員及び職員の採用方法及び雇用条件が明文化されている。	A
2	財務管理に関する規定が明文化されている。	A
3	職員の人事管理を適切に行っている。	A
4	学生の入学、卒業の許可、退学、休学の許可を適切に行っている。	A
5	外部からの情報収集を効率的に行い、共有化している。	A
6	授業、運営に関する学生からの相談、苦情を適切に対処している。	A
7	業務の見直し及び効率的な運営の検討が定期的、かつ組織的に行っている。	A
8	管理運営の諸規定が整備され、規定に基づいた運営がされている。	A
9	教員及び職員の研修等による教育の質強化のための取り組みをしている。	A
10	教育機関として信頼を高めるため、倫理的、振舞い、ハラスメント防止に関する研修を行っている。	A
11	教員及び職員の評価を適切に行っている。	A
12	教育目標達成に必要な教員の知識、能力が明示されている。	A
13	日本語教育機関の告示基準に適合している。	A
14	運営方針と経営目標が明確である。	A
15	学生に対して理解できる言語で対応している。	A

3 教育活動

1	学校の運営体制が告示基準に合致している。	A
2	教育理念・教育方針に基づいたコースが設定されている。	A
3	学生に適した教材の選定、開発が適切に行われている。	A
4	教員の指導力、経験に応じて適切な教員の配置がなされている。	A
5	教育目標達成に向けたカリキュラムを体系的に編成している。	A
6	教育内容、教育方法について教員間で共通の理解を得られている。	A
7	大学、専門学校、他の日本語教育機関の情報収集や教員との意見交換等定期的に行っている。	A
8	出席、成績の管理を適切に行っている。	A
9	授業開始までに試験などで、適切なクラス判定を行っている。	A
10	授業に必要な学習リソース及び情報が提供されている。	A
11	教育課程の改善の為の取り組みが行われている。	A
12	教員の指導力向上のための取り組みが実施されている。	A

4 学習成果

1	火事、地震、台風等の災害発生時の避難方法、避難経路、避難場所を定めている。	A
2	修了、卒業判定は適切である。	A
3	入学から卒業までの学習成績の記録、保管が適切に行われている。	A
4	日本留学試験、日本語能力試験などの外部試験の結果を把握している。	A
5	卒業後の進学先を把握している。	A
6	卒業生の進学先の情報を記録し、教員間で情報を共有している。	B
7	修了、成績、進級の評価判定は適切である。	A
8	授業評価を定期的の実施している。	A
9	評価体制、評価方法及び評価基準が適切である。	A
10	生徒による授業評価を定期的の実施している。	A
11	評価結果が、教育内容や方法の改善、教員の教育能力の向上等の取り組みに反映されている。	A
12	理解度、到達度の確認が実施期間中に適切に行われている。	A
13	判定基準及び判定方法が明確に定められ開示されている。	A
14	成績判定結果を的確に生徒に伝えている。	A
15	判定基準及び判定方法の妥当性を定期的に検証している。	A

16	進級及び卒業判定が定期的に行われている。	A
17	教員に対して、担当するクラスの生徒の学習目的、編成試験の結果、学習歴 その他指導に必要な情報を伝達している	A

5 生徒支援

1	防災についてオリエンテーション、若しくは防災センター見学を交えて学生の意識を高めている。	A
2	学生の学習支援計画を策定し、支援体制を整備している。	A
3	学習態度に問題がある学生には、すぐ個人面談を行い原因を突き止め、問題の解決を図っている。	A
4	進路指導担当者を特定している。	A
5	学生の希望する進路を把握している。	A
6	大学、専門学校に進路に関する資料が備えられ、学生が閲覧できる状態にある。	A
7	入学時から一貫した進路指導を行っている。	A
8	修了後、帰国する学生の帰国指導も行っている。	A
9	進路指導記録の管理を適切に行っている。	A
10	学生が様々な学校のオープンキャンパスの日程が分かるようにしている。	A
11	留学生活に関するオリエンテーションを定期的に行っている。	A
12	ごみ分別や交通安全といった指導を入国して早い段階で行っている。	A
13	アルバイトに関する指導、支援を行っている。	A
14	健康、衛生面について指導する体制を整えている。	A
15	対象の学生全員が国民健康保険、学校指定の留学生保険に加入出来ている。	A
16	重篤な病気、怪我があった場合の対応、感染症発生時の措置を決めている。	A
17	交通事故の相談体制、保険会社、警察、病院と連携がすぐ取れるようにしている。	A
18	住居に関するトラブルについて、学生に理解できるようにオリエンテーションで母語話者を通して説明している。	A
19	申請取次者を配置している。	A
20	入管法上の留意点について学生に伝達、指導を行っている。	A
21	在留上、問題のある学生への個別指導を行っている。	A
22	不法残留、資格外活動違反、犯罪を発生させないための指導、取組を継続的に 行っている。	A
23	学生の旅券有効期限、在留資格、在留期限、資格外活動の有無、アルバイト状況、 出席状況が一括で管理できるようになっている。	A

6 教育環境

1	校地、校舎面積は「日本語教育機関の告示基準」に適合している。	A
2	施設、設備に問題が発生した場合、適切かつ迅速に対応している。	A
3	授業時間外に自習できる部屋が確保されている。	B
4	教育内容及び生徒数に応じた図書、メディアが整備され常時利用可能である。	B
5	教員及び教員の執務に必要なスペースが確保されている。	A
6	施設、設備が安全かつ十分に整備が行われている。	A
7	学習効果を図る為の環境整備が整っている。	A
8	廊下、階段等は緊急時危険のない形状である。	A
9	教室の換気、適度な照度があり、遮音性も保たれている。	A

7 入学者の募集と選考

1	理念・教育目標に沿った学生の受け入れ方針を定め、年間の募集計画を策定している	A
2	現地で学校説明会を行っている。	A
3	学校の最新情報を正確に伝え、現地の学生が分かる言葉で伝えられている。	A
4	入学選考基準方法が明確である。	A
5	現地訪問後も学生の意欲確認の為に、オンライン面接を幾度となく行い学生の意欲 確認と適正性を確認している。	A
6	学費の説明が適切になされている。	A
7	学費返還についても説明を適切に行っており、募集要項にも公開されている。	A
8	募集要項、ホームページは学生が分かるようにそれぞれの国の母語でわかりやすい ようになっている。	A

9	仲介会社から送られてくる書類を確認し内容が正確であるか確認し仲介会社の適正性を確認すると共に、指導に応じない場合はその仲介会社からの募集は行ってはいけません。	A
10	入学志望者の身分、学歴、経歴、経費支弁の事項及び志願者本人から提出された資料の原本、写し、現地での調査、面接資料について適切に保管されている。	A
11	入学志望者の身分、学歴、経歴、経費支弁の事項及び志願者本人から提出された資料の原本、写しの内容を正確に把握している。	A

8 財務

1	債務超過になってない	A
2	第三者による適切な会計監査を行っている。	A
3	財務状況は中長期的に安定している。	A
4	予算・収支計画は有効性及び妥当性が保たれている。	A
5	予算編成が適切になされ、かつ効率的に機能している。	A
6	財務情報の公開の体制は出来ている。	A

9 法令遵守

1	自己点検評価の実施と改善及び公開を適切に行っている。	A
2	教職員のコンプライアンス意識を高めるための取り組みを行っている。	A
3	出入国管理局、その他関係官公庁への届け出、報告を遅延なく行っている。	A
4	法令遵守に関する担当者を定めている。	A
5	個人情報保護の為に対策を行っている。	A

10 地域貢献・社会貢献

1	日本語教育機関の資源や施設を活用した社会貢献、地域貢献が行われている。	B
2	地域活動への協力、参加及び公開講座を行っている。	B
3	生徒のボランティア活動を推奨、支援している。	A
4	地域の伝統行事に積極的に参加している。	B
5	域内の地方公共団体や国際交流団体、自治会と連携、協力体制を構築している。	B

理念・教育目標・学校運営、教育環境、地域貢献、社会貢献についての評価

総じて問題はなく、円滑に遂行されている。近隣との交流がまだ少ないと考えており、今後近隣との交流により、社会貢献、地域貢献していく必要がある。

学生支援についての評価

学生数が増加する中で、各々が連携し動いているため特段問題はないが、今後の課題として、アルバイトや出席状況の管理を徹底し、教務と事務の連携を密に図らなければならない。

入学者の募集と選考についての評価

それぞれの国の担当者が、何をやるべきかしっかりと把握し、現地の状況をきちんと把握できているため、特段問題はない。入学者が安心して通えるような学校づくりを意識していくことが重要である。

教育活動、学習成果についての評価

自己点検評価＜地域の交流の少なさ＞が課題となりました。以下、課題に対しての状況、問題点、課題について説明させていただきます。

まず、状況といたしまして、コロナ前は高校生や大学生と交流できる状況でしたが、現在、未だ収束していない状況下での交流は先生方もかなり消極的となり現実的に難しい段階です。

今後は情報量を強化し、地域に貢献できるような学校作りを目指していく所存です。

財務、法令順守についての評価

財務については、中長期的に安定しており、予算、収支においても問題ない、適切な会計監査もおこなわれている。

法令順守について、自己点検評価の実施、点検、公表も決まった時期にできている。官公庁への届け出、報告も行われており、問題ない。